



近畿大学医学部附属病院

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2 TEL:072-366-0221 (代表)

<http://www.med.kindai.ac.jp/huzoku/index.html>

●開設/昭和50年5月 医学部附属病院開院 ●病床数/929床



【活用のポイント】

- 看護業務支援
- 電子カルテ連携

導入機種: AsReader ASX-510R
導入時期: 2016年1月



看護部・看護長 医療安全対策室室長
加戸様 辰巳様

医療安全の観点から、患者や薬剤などバーコードによる管理を積極的に推進させている近畿大学医学部附属病院様。今回、電子カルテシステムのリプレイスにあたり、端末を従来の PDA から iPod touch に変更されました。AsReader を装着することで読み取り精度が格段に向上し、効率的な看護業務に結びついているようです。

課題

ソリューション

効果

今後の展開

AsReader なら夜間の病室でもバーコードが読める！



- 従来の PDA を使ったバーコード管理方法でも、バーコードが曲がっているなど条件によってはなかなか読めなかった。
- iPod touch のカメラを使った読み取りでは、情報量の多い（幅の長い）バーコードを認識出来なかったり、夜間の病室など薄暗い中では特に読み取りが難しかった。
- AsReader を装着することで、読み取り精度が格段に向上。暗い場所にも、情報量の多いバーコードにも対応。
- 電子カルテと連携して、AsReader だけで三点認証や在薬管理、処方チェックをベッドサイドで完結。
- 動線が短くなり、タイムロスも減り、（ナースステーションでの）転記という作業が不要になって、患者情報をそのままカルテに入力できるので、作業効率が大幅 UP。
- （スマホ世代の看護師が大半なので）導入に際し特別な研修も無く、トライアル無しで本運用をスタートしたが、特に問題もなく活用できている。
- 病棟（入院患者）での使用だけに留まらず、外来やリハビリでも活用を開始。近々、人工透析にも導入予定。

AsReader とは？

iPhone / iPod touch に装着するだけで、スマートデバイスが持つ機能をそのまま活かせる強力なハンディターミナルです。



インタビュー動画はこちら！

<https://asreader.jp/movies/>



お手持ちの携帯電話やスマートフォンのカメラで、こちらの QR コードを読み込んでください。



働く
スタッフ
の声

プライベートで iPhone を使っていたので、この新しい端末は非常に使い易いです。充電もマグネットでピタッと付くのでとても簡単で便利です。また、医師が点滴の変更を指示すると、リアルタイムでこちらの点滴画面に表示され、完了するまで点滴できなくなるなど、今まで以上に安全性が高まった印象を受けています。

【この導入事例は、2016 年 2 月現在の情報に基づいています】